

令和7年度第2回三重県議会「議員勉強会」開催要領

■ 目 的

県内の地域公共交通は、人口減少や高齢化の進行、自動車利用を前提とした宅地開発や集客施設の郊外化などにより、長期的に利用者の減少が進むなど、厳しい状況に置かれています。

また、県内各地には交通不便地域が存在し、特に移動手段を持たない高齢者や若者の移動手段の確保が喫緊の課題となっており、「第3回みえ県民1万人アンケート」においても、「移動手段、交通の便利さ」が14項目中最も満足度の低い項目となっています。

そこで、持続可能な地域公共交通の実現に向けて、必要な視点等について有識者から学び、今後の県議会における議論の参考とします。

■ 日時・場所

令和8年3月23日（月）13時30分～15時00分

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

■ 講 師

松本 幸正 氏（名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授）

「人と環境にやさしい交通まちづくり」を研究室のテーマとして、“交通”、“都市”、“まちづくり”に関する研究に取り組んでいる。理論研究の一方で、フィールドに出て調査・分析し、地域の実際の課題解決にも貢献している。特に、持続可能な地域公共交通について実践を進めており、三重県地域公共交通協議会の副会長をはじめ、津市、四日市市、亀山市、愛知県、名古屋市、静岡県、浜松市などの地域公共交通会議や都市計画審議会の会長等を務めている。

■ 演 題

「元気に暮らし続けられる交通まちづくり」



元気に暮らし続けられる 交通まちづくり

県内の地域公共交通は、人口減少や高齢化の進行、自動車利用を前提とした宅地開発や集客施設の郊外化などにより、長期的に利用者の減少が進むなど、厳しい状況に置かれています。

また、県内各地には交通不便地域が存在し、特に移動手段を持たない高齢者や若者の移動手段の確保が喫緊の課題となっています。

こうした状況の中、持続可能な地域公共交通の実現に向けて、県議会における議論をさらに深めるため、必要な視点等についてお話を伺います。

まつもと ゆきまさ

講師 松本 幸正 氏

名城大学
理工学部社会基盤デザイン工学科
教授



1991年 名古屋工業大学大学院工学研究科博士前期課程修了
1993年 名城大学理工学部助手
2007年 名城大学理工学部教授
(現在に至る)

「人と環境にやさしい交通まちづくり」を研究室のテーマとして、「交通」、「都市」、「まちづくり」に関する研究に取り組んでいる。理論研究の一方で、フィールドに出て調査・分析し、地域の実際の課題解決にも貢献している。特に、持続可能な地域公共交通について実践を進めており、三重県地域公共交通協議会の副会長をはじめ、津市、四日市市、亀山市、愛知県、名古屋市、静岡県、浜松市などの地域公共交通会議や都市計画審議会の会長等を務めている。主な著書に「成功するコミュニティバス、学芸出版」、「変革社会に対応する新しい都市計画像、中日出版」など。

2026/3/23 (月) 13:30~15:00

場所：三重県議会議事堂3階 全員協議会室

問合せ先：三重県議会事務局企画法務課 鈴木

TEL 059-224-2879 FAX 059-229-1931 mail : gikaik@pref.mie.lg.jp